



咸臨丸のデッキから見た大鳴門橋と渦潮



# 日本の源流 再発見

## File 33 兵庫県淡路市、洲本市、南あわじ市 日本の始まり、淡路島は文化と自然の宝庫

日本で最初に誕生した島として『古事記』『日本書紀』につづられている淡路島。2016年4月、悠久の時を越えて語り継がれる淡路島の歴史を紡ぐストーリーが、「日本遺産」に認定されました。穏やかな時間が流れるこの島の豊かな自然もまた、注目を集めています。



## 古代ロマンと自然美に彩られた、神秘の島へ

兵庫県神戸市と淡路市を結ぶ、世界で最も長いつり橋、明石海峡大橋。風に揺らめく水面とのコラボレーションが美しく、眺める場所によって多彩な表情をみせる明石海峡大橋は、夜間にはきらめくイルミネーションに彩られ、幻想的な表情が人々を魅了します。はるか昔から、日本の始まりと伝えられている淡路島は、島中に点在する文化財とともに、悠久の歴史が紡ぎ出したストーリーが今なお色濃く残されています。淡路島の北端にある岩屋漁港に浮かぶ絵島もそのひとつ。多くの和歌にも詠まれているこの小島は、古くからの景勝地で多くの人が訪れます。

播磨灘を臨む高台にある「五斗長垣内遺跡」もまた、島

の歴史を語る重要な史跡です。弥生時代後期の鉄器生産遺跡で、淡路島が鉄器文化を畿内中心部に先駆けて取り入れ、古代国家の成立に重要な役割を果たした歴史を今に伝えます。

神々しい趣で人々を迎える「伊弉諾神宮」。『古事記』や『日本書紀』にも登場し、日本最古の宮と伝えられるこの神社には、日本で最初の夫婦といわれる伊弉諾尊と伊弉冉尊の二柱が祀られています。2株の木が1株になった樹齢約900年の夫婦大楠は、縁結びや夫婦円満などに御神徳があるといわれ、信仰の対象として多くの参拝者が訪れています。

徳島県につながる大鳴門橋と鳴門海峡の渦潮。この壮





いざなぎ  
▲ 伊弉諾神宮

「国生み神話」に登場する伊弉諾尊(いざなぎのみこと)が余生を過ごした地に建てられた神社です。『日本書紀』に幽宮(かくりのみや)と記される日本最古の宮と伝えられています

▼ 明石海峡大橋

橋長3,911m、中央支間長1,991mを誇る淡路島のシンボリック的存在です



ごっさかいと  
▼ 五斗長垣内遺跡

2004年の災害を機に発見された大規模な弥生時代後期の遺跡です。鍛冶工房や竪穴建物が復元されています



▲ 絵島

「国生み神話」に登場する「おのころ島」伝承地のひとつ。長年の風波によって描き出された造形美が楽しめる景勝地です

大な光景を間近に観賞するなら観潮船への乗船をおすすめします。福良港から出航している「うずしおクルーズ」の遊覧時間は約60分。1860年に太平洋の往復を果たした勝海舟ゆかりの蒸気帆船を復元した観潮船「咸臨丸」に乗り込むと、船は一路、鳴門海峡をめざします。鳴門の渦潮は、瀬戸内海と太平洋を結ぶ鳴門海峡で発生する渦潮で、干満差が最大となる春と秋の大潮時には直径20m以上にもなる大渦おおうずが出現することがあるそうです。世界三大潮流のひとつに数えられる鳴門の渦潮は、日本だけでなく、世界的にも珍しい自然現象といえます。帆船に揺られながら刻々と変わる渦を写真に収めることは、まさに至難の業。潮の流れとともに、ごう音を立てて巻く大小の渦が、わずか数秒で現れては消えるその様子は、二柱の神ほこが矛で下界をかき回したという「国生み神話」を想像させてくれます。



島の恵みを使ったスイーツが地元で人気の日洋堂。中でも、「たまねぎケーキ『shintama』」は、淡路島らしい珠玉の一品です。外側の玉ねぎはしっとり、中には生クリームとメレンゲ菓子。その食感とやさしい甘さが特徴です。

日立グループ事業所紹介

今回訪れた兵庫県には株式会社日立システムズフィールドサービス 姫路オフィスがあります。情報・通信・設備に関わるコンサルティングから保守・運用監視を通して、情報システムをサポートするスーパーエンジニアチームです。

株式会社日立システムズフィールドサービス 姫路オフィス

兵庫県姫路市北条432番地14 太陽生命姫路ビル3F

<https://www.hitachi-systems-fs.co.jp/>